

【2】エンジンオイルの給油

**注意** ●本機は工場出荷時にエンジンオイルが給油されていません。購入後、最初に始動する際はお客様の方でエンジンオイルを規定量給油してください。

●エンジンオイルを規定量より入れ過ぎると、エンジンの異常停止や白煙の発生など不調の原因になります。

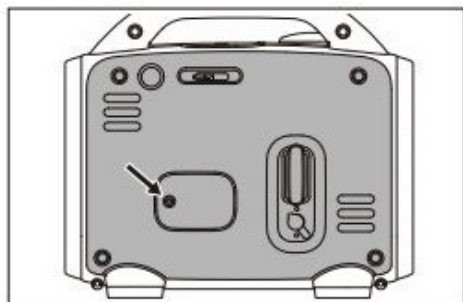
●給油は本機本体を水平な場所に置いて行ってください。

●こぼれたエンジンオイルは、直ちに布などで完全に拭き取ってください。

1. 本機本体を水平な場所に置いて行ってください。

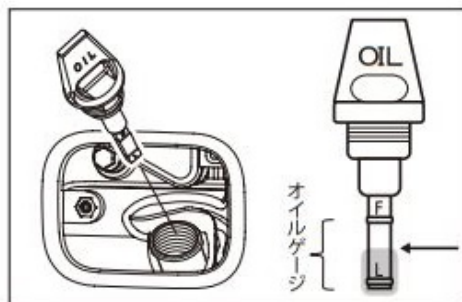
2. オイル給油口カバーのボルト（1カ所）を取り外してください。

3. オイル給油口カバーを取り外してください。



4. オイルキャップを取り外してエンジンオイルを規定量まで給油してください。

●規定量の目安はオイルゲージの中央あたりです。



●「F」のラインより多くエンジンオイルを入れしないでください。

●オイル容量

「ジーキュービックG700」=0.2L

●使用オイル

= 4サイクルエンジンオイル

A.P.I.分類S.J級以上

SAE 10W-30

**要点** ●エンジンオイル給油方法は「【16】点検・整備【1】エンジンオイルの交換」※P.46～P.47を参照してください。



キュービック クレマ  
エンジンオイルの点検と交換

【1】燃料の点検

●使用するカセットボンベをよく振ってください。振った際に“サラサラ”と音がしない場合は新しいカセットボンベと交換してください。

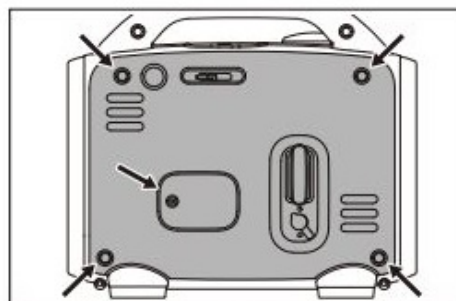
●本機本体のカセットボンベホルダー内にゴミやちり、油分が付いていないか点検してください。



**要点** ●カセットボンベ凹部と器具栓凸部は常に綺麗にしてください。

【2】エンジンオイルの点検

1. メンテナンスカバーのボルト（4カ所）を取り外して、メンテナンスカバーを外してください。またはオイル給油口カバーのみを外しても行えます。



2. オイルキャップを取り外してください。



3. エンジンオイルがオイル規定量まであるか点検してください。

●規定量の目安はオイルゲージの中央あたりです。



4. エンジンオイルがオイル規定量より少ない場合は、エンジンオイルをオイル基準面まで継ぎ足してください。

●規定量よりも多い場合は、白煙が出ることがあります。その際には、量を減らしてください。





【1】エンジンオイルの交換

**⚠警告** ●油脂類の廃液は法令「廃棄物処理及び清掃に関する法律〔廃棄物処理法〕」および条例〔公害防止条例〕などにより、適切な処理を行うことが義務付けられています。廃棄は法令および各地域の条例に従い適切に行ってください。

●初回は20時間または1カ月運転した際に、その後50時間運転毎または6カ月毎に交換してください。

1. エンジンを始動し2～3分程度、暖機運転をしてください。
2. エンジンを止めてください。「【10】正しい運転操作〔6〕エンジンの停止」※P.35を参照してください。

**⚠警告** ●エンジン停止直後はエンジンオイルが熱くなっているので、すぐに排出しないでください。

**⚠要点** ●こぼれたエンジンオイルは、直ちに布などで完全に拭き取ってください。

●排出するエンジンオイルを受け取る容器を別途用意してください。

3. メンテナンスカバーのボルト（4カ所）を外して、メンテナンスカバーを取り外してください。

※オイル給油口カバーから、オイルは排出できません。

＜製造・発売元＞

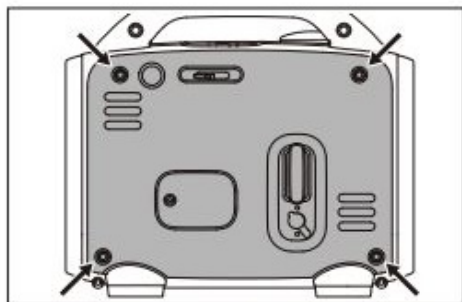
株式会社 **エプソン**

〒362-0066 埼玉県上尾市債家5-7-1

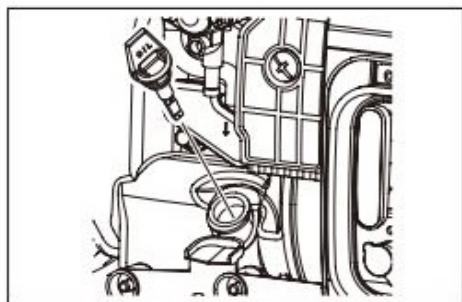
お客様相談室  
お問い合わせダイヤル

TEL 0480-26-5311

月曜～金曜 9:00～17:00 (祝日、弊社休業日を除く)



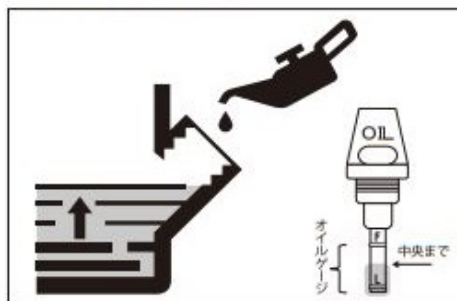
4. オイルキャップを取り外してください。



5. 本機を傾けてエンジンオイルを排出してください。



6. 新しいエンジンオイルを規定量まで給油してください。



●規定量の目安はオイルゲージの中央あたりです。

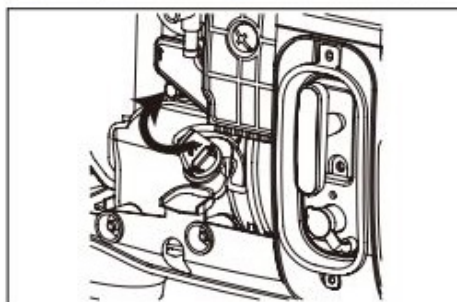
●オイル容量  
「ジーキュービックG700」= 0.2 L  
※規定量を守って給油してください。

●使用オイル  
= 4サイクルエンジンオイル  
API分類S J級以上  
SAE 10W-30

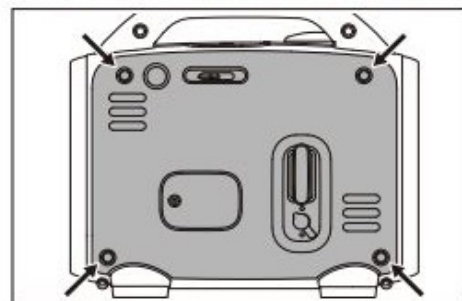
**⚠要点** ●エンジンオイルの給油は本機本体を水平状態にして行ってください。

●こぼれたエンジンオイルは、直ちに布などで完全に拭き取ってください。

7. オイルキャップを締めてください。



8. メンテナンスカバーを取り付けて、ボルト（4カ所）で固定してください。



【2】点火プラグの点検と清掃

●点火プラグは点検が簡単な重要部品です。徐々に劣化しますので、定期的に取り外して点検してください。

1. エンジンを止めてください。「【10】正しい運転操作〔6〕エンジンの停止」※P.35を参照してください。

**⚠警告** ●エンジン停止後は、点火プラグや本機本体が熱くなっていますので、火傷に注意してください。

2. 点火プラグメンテナンスカバーを取り外してください。

